

平成 22 年度共同利用研究・研究成果報告書

研究課題名 和文：地球外起源固体微粒子に関する総合研究
英文：Comprehensive Researches on Cosmic Dusts

研究代表者 寺田健太郎（広島大学）

参加研究者

山形大学：教授・櫻井敬久、講師・岩田尚能
国立極地研究所：助教・今榮直也、助教・山口亮
学習院大学：助教・村上登志男
立正大学：教授・福岡孝昭
原子力研究開発機構：研究員・大澤崇人
国立天文台：教授・佐々木晶
東京海洋大学：教授・大橋英雄
東北大学：教授・大谷栄治
東京大学：教授・長尾敬介、助教・三河内岳、助教・橋省吾、特任研究員・吉田敬
獨協医大：教授・野上謙一
九州大学：准教授・中村智樹
茨城大学：教授・野口高明、教授・木村眞
大阪大学：教授・土山明、助教・橋爪光、招聘研究員・茅原弘毅
宇宙航空研究開発機構：助教・矢野創、開発員・矢田達
産総研：招聘研究員・中村良介
筑波大学：准教授・丸岡照幸
首都大学東京：教授・海老原充

研究成果概要

本活動は、「地球外起源固体微粒子」に関する分野横断的な議論を行うことを目的として、平成 14 年度より継続する「地球外固体微粒子に関する総合研究」の研究会の開催である。ここ数年は年度末に 1 泊 2 日の研究会を開催し、時間に厳しい制約を設けず分野を超えた自由闊達な議論を行ってきた。今年度も 2011 年 3 月 30-31 日の日程で計画を進め、プログラム作成までこぎ着けていたが、東日本大震災による講演者の相次ぐキャンセル、計画停電による研究会開催の不確実性のため、やむを得ず 3 月 17 日に研究会の延期を決定し、研究費の次年度への繰り越して続きをした。開催可能な状況になり次第、再度講演者を募り研究会を開催する予定である。以下、計画していた講演リストを記す。

<30 日午後>

矢野創 はやぶさカプセル回収から試料初期分析まで（1）：カプセル帰還運用・方探・回収・輸送・開梱

矢野創 IKAROS ダストカウンタの成果

中村智樹 はやぶさカプセル回収から試料初期分析まで（2）：カプセルふた開封、微粒子特定、その後の分析成果など

中村良介 微粒子はイトカワのどこに存在していたのか？

野口高明 国際宇宙ステーションで捕集されたコンドルールについて

尾上哲治 2~2.5 億年前の層状チャート（遠洋性堆積岩）からみつかった宇宙塵

三浦亜由美 南極ドーム Fuji 切削氷に含まれる宇宙塵の降下量

橋省吾 はやぶさ 2：初期太陽系の鉱物-水-有機物相互作用

土山明 はやぶさ初期分析と X 線 CT

<31 日午前>

大澤 超遠心分離機を用いた Allende 隕石の分解～phase Q の分離を目指して

橋爪光 隕石有機物の酸素、月の酸素

寺田健太郎 s-process 核種同位体比の温度・密度依存性と惑星物質との比較

今栄直也 とけ残り鉱物を含む微隕石の分類

整理番号